

2022年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
37309	介護初任者研修課程Ⅲ	山本巳華	✓	専門	2	選択	1・2後期

科目の概要

世界のどの国も経験したことのない超高齢社会を迎えた日本では、介護ニーズはますます高まっている。社会全体で支える仕組みとして介護保険という仕組みが作られた。その介護保険と関連する制度、医療との連携、障害者自立支援制度の具体的な仕組みを理解し、利用者に対してより良い支援を提供することができることを学びます。また利用者が持つ老化や疾患といった側面を理解することで、より利用者が理解できるように修得する。

★医療現場、介護現場での経験をもとに、老化や認知症、障害の知識の理解を深め、利用者へ尊厳を持って寄り添う支援につなげていく。

学修内容	到達目標
① 介護保険制度の背景を踏まえて仕組みを学ぶ。 ② 介護保険に関連する制度、障害者自立支援制度の仕組みについて学ぶ。 ③ 医療との連携とリハビリテーションについて学ぶ。 ④ 人のライフサイクルを知り、老化による心身の変化を学ぶ。 ⑤ 高齢者に多い疾患について学ぶ。	① 介護保険制度の背景を踏まえて仕組みを述べることができる。 ② 介護保険に関連する制度、障害者自立支援制度の仕組みについて述べることができる。 ③ 医療との連携とリハビリテーションについて述べるすることができる。 ④ 人のライフサイクルを知り、老化による心身の変化を述べることができる。 ⑤ 高齢者に多い疾患について述べることができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例	
前に踏み出す力	主体性	教科書・文献を用いて自己学修をすることができる。 グループワークなどで役割を楽しんで参加できる。
	働きかけ力	グループワークなどで人の力を借りるための声かけができる。
	実行力	困難があっても目標を変更せず到達することができる。
考え抜く力	課題発見力	相手や状況を見て感じ、課題を見極めることができる。
	計画力	グループ内で時間内に終わることができるよう手順や役割分担を考えて期限内に達成できるよう進めることができる。
	創造力	新しい発想を持ち、答えは一つではないと考えて物事に取り組むことができる。
チームで働く力	発信力	グループワークで自分の考えを発表できる。
	傾聴力	グループワークで人の意見をしっかりと聞き、言葉だけでなく表情やしぐさから相手の思いを汲みとることができる。
	柔軟性	グループワークで自分と異なる意見や価値観に対して柔軟に受け入れることができる。
	状況把握力	その場の状況を察知して、自分の役割を把握し、良い結果が出せるよう取り組むことができる。
	規律性	無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障を来す行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	上手くいかなかった時でも長く引きずることなく次へ進むことができる。

テキスト及び参考文献

テキスト：介護職員初任者研修テキスト（第2版・第2刷） 1～2巻 長寿社会開発センター
税込み¥7124

参考文献：なし

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：なし
資格との関連：介護職員初任者研修

学修上の助言	受講生とのルール
制度は日常生活では馴染みがない分野で、聞きなれない単語が多いので、1回の講義毎で暗記をするようにしてください。暗記しないと学修についてこれません。	新聞や電子媒体などを通じて、福祉の動向に関心を持って下さい。 欠席した場合、シラバスを確認し、他の学生に講義内容を聞いて、レポートを速やかに提出して下さい。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	50	①	✓	高齢者・認知症者・障害者に対する対人援助業務に従事する専門職が共通して持つ基本的な考え方や知識、必要な支援についての理解度を確認し評価する。 * 20点は認知症の講義担当	
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤	✓		
	平常評価	小テスト		10	①	✓	小テスト2回実施。 点数は換算する。
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
					⑤	✓	
		レポート		20	①	✓	レポート2つ提出で評価する（各10点づつ） ・介護保険で制度ができた背景と目的について、自分の言葉で記述する。 （1200字以上） ※文献の丸写しの場合、点数は0点です。 ・リハビリテーション中のリスクについて、グループワークを行い、何を学んだのか （800字以上）
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
					⑤	✓	
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		10	①	✓	リハビリテーション中のリスクについてグループワーク・発表 ・グループワークで司会、書記、メンバーの役割ができる。 ・自己の意見述べるができる。 ・他者の意見を傾聴し、自己の意見を発展できる。
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
					⑤	✓	
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	・講義への参加態度やグループワークへの関わり方から各社会人基礎力を評価する。 ・遅刻、欠席、学習意欲欠如、課題の未提出、グループワークへの非協力などが見られる場合は減点する。 （主体性） 教科書・文献を用いて自己学修をしている。 （働きかけ力） グループワークなどで人の力を借りるための声かけをしている。 （実行力） 困難があっても目標を変更せず到達しようと努めている。 （課題発見力） 相手や状況を見て感じ、課題を見極めることができる。 （計画力） グループ内で時間内に終えることができるよう、手順や役割分担を考えて期限内に達成できるよう進めることができる。 （創造力） 新しい発想を持ち、答えは一つではないと考えて物事に取り組むことができる。 （発信力） グループワークで自分の考えを発表する。 （傾聴力） グループワークで人の意見をしっかりと聞き、言葉だけでなく表情やしぐさから相手の思いを汲みとることをしている。 （柔軟性） グループワークで自分と異なる意見や価値観に対して柔軟に受け入れることができる。 （状況把握力） その場の状況を察知して、自分の役割を把握し、良い結果が出せるよう取り組むことができる。 （規律性） 無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障を及ぼす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 （ストレスコントロール力） 上手くいかなかった時でも長く引きずることなく次へ進むことができる。		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>(S) 介護保険制度、障害者自立支援制度、医療との連携、高齢者に多い疾患とその留意点について9割程度暗記できている。</p> <p>(S) グループワークを通してリーダーシップを発揮し、自分の意見を述べ他者の意見を傾聴し自らの意見を発展できる。</p> <p>(S) 介護保険制度創設の背景と目的を多角的に考え、自分の意見を取り入れながら論理的に記述できる。</p> <p>(A) 介護保険制度、障害者自立支援制度、医療との連携、高齢者に多い疾患とその留意点について8割程度暗記できている。</p> <p>(A) グループワークに積極的に参加し、自分の意見を述べ他者の意見を傾聴し自らの意見を発展できる。</p> <p>(A) 介護保険制度創設の背景と目的を調べ、自分の意見を取り入れながら論理的に記述できる。</p>	<p>(B) 介護保険制度、障害者自立支援制度、医療との連携、高齢者に多い疾患とその留意点について7程度暗記できている。</p> <p>(B) グループワークを積極的に参加し、自分の意見を述べ他者の意見を傾聴することができる。</p> <p>(B) 介護保険制度創設の背景と目的を調べ、自分の言葉で論理的に記述できる。</p> <p>(C) 介護保険制度、障害者自立支援制度、医療との連携、高齢者に多い疾患とその留意点について6程度暗記できている。</p> <p>(C) グループワークに参加し、自分の意見を述べ他者の意見を聞くことができる。</p> <p>(C) 介護保険制度創設の背景と目的を調べ、自分の言葉で記述できる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	シラバスの説明 介護・福祉サービスの理解と医療との連携【1】 《介護保険制度の背景と目的》 介護保険制度の創設の背景、導入前後の変化、保険給付とその種類を学びます。	講義	・介護保険制度創設の背景と目的について多角的にレポートできる。 ・介護保険導入前後の変化を説明できる。 ・生活全体の支援の中で介護保険における保険給付と種類を概説できる。	(予習) P196～240を読んで、地域支援事業、地域包括支援センターについてまとめる。 (課題) 介護保険制度ができた背景と目的について1200字以上でレポート。(10点) 提出は第3回講義前。提出遅れた場合、減点。	180	主体性 課題発見力 創造力 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
2	介護・福祉サービスの理解と医療との連携【2】 《介護保険制度の仕組み》 ・要介護、要支援の認定の手順、利用者負担と財源、地域支援事業および地域包括支援センターについて学びます。 ・ケアマネジャーの役割とケアマネジメントの流れを復習します。	講義	・要介護、要支援の認定の手順、利用者負担と財源を暗記できる。 ・地域支援事業および地域包括支援センターの役割を述べるができる。 ・ケアマネジャーの役割とケアマネジメントの流れを概説できる。	(予習) P242～256を読んで、医療と介護の連携についてまとめる。 (復習) 介護保険制度についてまとめる。	180	主体性 実行力 創造力 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
3	*介護保険の復習 介護・福祉サービスの理解と医療との連携【3】 医行為と介護、医療と介護の連携について学ぶ。	小テスト(介護保険の復習) 講義	・医療、看護、介護の連携の重要性について述べるができる。 ・医療行為の考えかたを述べるができる。 ・一定の要件のもとに介護福祉士等が行う医療行為の内容を述べるができる。	(予習) P257～267を読んで、リハビリテーションの理念と目的についてまとめる。 (復習) 医療と介護の連携についてまとめる。	180	主体性 実行力 創造力 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
4	介護・福祉サービスの理解と医療との連携【4】 ・リハビリテーションの理念と目的、リハビリテーション職種との連携について学ぶ。 医療との役割について学ぶ。	講義 グループワーク(事例検討)発表	・リハビリテーションの理念と目的を述べることができる。 ・リハビリテーション職種との連携について述べるができる。 ・事例を通してどのようなリスクがあるのかレポートできる。	(予習) P270～287を読んで、まとめる。 (復習) 日常生活への影響についてまとめる。 (課題) リハビリテーション中のリスクについて800字以上でレポート。(10点) 提出は第6回講義前。提出遅れた場合、減点。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
5	*リハビリテーションの復習 介護・福祉サービスの理解と医療の連携【1】 ・障害者の理念を復習します。 ・高齢障害者の生活を支えるための基本的な考え方を学びます。 ・障害者総合支援法を目的、理念、対象、システムの全容を学びます。	講義 小テスト(リハビリテーションの復習)	・ICFとノーマライゼーションが暗記できる。 ・高齢障害者の生活を支えるための基本的な考え方を概説できる。 ・障害者総合支援法を目的、理念、対象、システムの全容を概説できる。	(予習) P 288～309を読んで、個人情報保護法についてまとめる。 (復習) リハビリテーション職種との連携についてまとめる。	180	主体性 実行力 創造力 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
6	介護・福祉サービスの理解と医療との連携【2】 ・個人情報保護法、権利擁護の復習をします。 ・成年後見制度の目的を復習し、内容について学びます。 ・日常生活自立支援事業の目的と内容について学びます。	講義	・個人情報保護法、権利擁護の語句と目的が暗記できる。 ・成年後見制度の目的を暗記し、内容について概説できる。 ・日常生活自立支援事業の目的と内容について概説できる。	(予習) P88～98を読んで、老化に伴う心身の変化についてまとめる。 (復習) 障害者総合支援制度についてまとめる。	180	主体性 実行力 創造力 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
7	老化の理解【1】 《老化に伴うこころとからだの変化と日常》 ・介護職員初任者課程Ⅱで行った高齢者体験を基に老年期の発達と老化に伴う心身の変化について学びます。	講義	・加齢と感覚、知覚、感情、記憶、知能、性格の変化を概説できる。	(予習) P99～109を読んで、老化に伴う日常生活への影響についてまとめる。 (復習) 老化に伴う心身の変化についてまとめる。	180	主体性 実行力 創造力 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
8	老化の理解【2】 ・加齢、老化の影響について復習 ・前回の講義を踏まえ、加齢、老化に伴う変化が日常生活への影響について学びます。	講義 グループワークと発表	・前回の講義を踏まえ、加齢、老化に伴う変化が日常生活でどのようなことに注意が必要かを発表できる。	(予習) P112～157を読んで、高齢者に多い病気についてまとめる。 (復習) 加齢、老化に伴う日常生活への影響についてまとめる。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	老化の理解【3】 《高齢者と健康1》 ・高齢者に多い、訴え、症状、病気について学びます。 目の病気、耳鼻の病気、皮膚の病気、歯・口腔の病気、心不全と不整脈、誤嚥性肺炎、慢性閉塞性肺疾患(喘息とCOPD)	講義	・病名を暗記し、病態を知った上で、支援の留意点を述べることができる。	(予習) P158～177を読んで、高齢者に多い病気についてまとめる。 (復習) 高齢者に多い病気についての類意点をまとめる。	180	主体性 実行力 創造力 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
10	老化の理解【4】 《高齢者と健康2》 ・高齢者に多い、訴え、症状、病気について学びます。 大腿骨頸部骨折、脳血管障害、変形性膝関節症、骨粗しょう症、パーキンソン病、筋委縮側索硬化症、関節リウマチ、高血圧、糖尿病、	講義	・病名を暗記し、病態を知った上で、支援の留意点を述べることができる。	(復習) 高齢者に多い病気についての類意点をまとめる。	180	主体性 実行力 創造力 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
11	認知症の理解Ⅰ 認知症を取り巻く状況 ・認知症ケアの理念	講義 グループワーク、発表 記録シート記入 (担当 兵藤)	認知症ケアの理念、パーソン・センタード・ケアについて説明できる	(予習) 教科書の該当する部分を読み分からない単語を調べておく (復習) パーソン・センタード・ケアについて検討し自分の考えをまとめる	90	主体性 課題発見力 傾聴力
12	認知症の理解Ⅱ 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 ・認知症の概念・認知症の原因疾患とその病態・原因疾患別ケアのポイントと健康管理	講義 事例検討 個人ワーク、発表 記録シート記入 (担当 兵藤)	・認知症の概念、認知症の中核症状、BPSDについて説明できる ・認知症ケアにおける健康管理の重要性と留意点について説明できる	(予習) 教科書の該当する部分を読み分からない単語を調べておく (復習) 中核症状、BPSDについてまとめる	90	主体性 課題発見力 発信力
13	認知症の理解Ⅲ 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 ・認知症の人の生活障害、心理・行動の特徴・認知症の利用者への対応	講義 事例検討 グループワーク、発表 記録シート記入 (担当 兵藤)	・BPSDのとらえ方、BPSDが生じる原因について説明できる ・認知症の人への対応、生活環境の影響について説明できる	(予習) 教科書の該当する部分を読み分からない単語を調べておく (復習) 具体的なBPSDの例を一つ挙げ、原因と考えられる事を複数列挙し対応方法について検討しまとめる	90	主体性 課題発見力 傾聴力 状況把握力
14	認知症の理解Ⅳ 家族への支援	講義、演習 記録シート記入 (担当 兵藤)	・認知症をもつ人の気持ちやその家族の気持ち、受けやすいストレスについて説明できる	(予習) 教科書の該当する部分を読み分からない単語を調べておく (復習) 認知症当事者、家族への支援方法について検討する	90	主体性 課題発見力 状況把握力
15	障害者の基本的な介護 家族の心理と支援	講義 (担当 澤井)	身体障害、知的障害について概説できる。	(予習) 教科書を読んで、身体障害、知的障害、精神障害者についてまとめる。 (復習) 身体障害・知的障害、精神障害者への基本的な介護、家族への関わりについてまとめる。	180	課題発見力 発信力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力